

令和3年度第2回加古川市子ども・子育て会議 議事要旨

- 日 時 令和3年12月21日（火） 15時00分から16時20分
- 場 所 加古川市立青少年女性センター 大会議室
- 出席委員 松田会長、下村副会長、今井委員、江指委員、北野委員、千徳委員、高瀬委員、高橋委員、田口委員、村山委員、山下委員、吉田委員
- 会議次第
- 1 開会
  - 2 議事
    - (1) 会長・副会長の選出について
    - (2) 加古川市立幼稚園の今後のあり方について（案）
    - (3) 第二期加古川市立幼稚園及び保育園の認定こども園化推進方針（案）について
  - 3 その他
  - 4 閉会
- 配付資料
- 資料1：令和3年度第2回加古川市子ども・子育て会議 座席図
- 資料2：加古川市子ども・子育て会議 委員名簿
- 資料3：加古川市立幼稚園の今後のあり方について（案）
- 資料4：第二期加古川市立幼稚園及び保育園の認定こども園化推進方針（案）
- 資料5：第二期加古川市立幼稚園及び保育園の認定こども園への移行スケジュール（案）

議事要旨

1. 開会	
2. 議事	(1) 会長・副会長の選出について 委員の互選により、会長に松田委員、副会長に下村委員を選出
委員	(2) 加古川市立幼稚園の今後のあり方について（案） 資料3により説明  資料19 ページの預かり保育の拡充について、なぜ14時までの区切りをつけるのか。
事務局	現在も一定の理由がある場合は預かりを実施している。就労しているためもう少し預かってほしいという要望はあるが、就労支援としては保育園、認定こども園があり、役割分担としてバランスをとる必要があるため慎重に判断していきたいと考えている。
委員	幼稚園、保育園等の違いがよくわからず、差別化をしなければならない理由がわからない。働いていても、今後通う小学校の近くの幼稚園に預けたい人もいると思う。資料を拝見すると幼稚園も場合によってはこども園化と記

<p>事務局</p>	<p>載してあり、方向性はこども園化であると感じる。しかし幼稚園は14時までと言われることに違うのではないかと思う。</p> <p>働いておらず、幼稚園に預けている知人から、あと30分預かってもらえるけど、預かってもらえず、それを言えない雰囲気であると聞いた。</p> <p>資料4 ページ「一時預かり事業」の量の見込み・確保方策と、実績値の乖離があることについても以前から疑問がある。</p> <p>なぜ14時で区切るのか、なぜ一時預かりを園側に言えない雰囲気になっているのかについて、先生方にも聞いてみたい。市の方にも聞いてあげて欲しい。</p> <p>14時以降の預かりについての要望や、預かりの条件が厳しすぎるのではないかという意見はある。今までも子育て施策について、公立、民間の全体のバランス、役割分担を考慮して実施してきている。</p> <p>また、実施するにあたっては職員の負担増加も考慮する点であり、委託を検討する場合については費用面も課題となってくるため、慎重に検討していきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>保育園の立場から話をさせていただくと、さきほどの話は保育園、幼稚園、こども園の違いがわからないという中でのご意見と伺った。</p> <p>保育園、幼稚園は全く管轄が異なり、認定こども園はその中間に位置するもの。保育園、幼稚園に入所する条件は全く異なる。保育園は就労、看護、病氣療養等により日中自宅で保育ができないという条件がある。幼稚園はそういった条件はなく、保育時間は概ね6時間と決められている。保育園は長くても11時から12時間開所している中で標準時間や短時間といった預かりの時間があり、延長保育の時間といったものがある。条件が大きく違う。</p> <p>就労しながら近くの幼稚園に入り、長く預かってもらったらいいと言っても逆の場合はどうか。</p> <p>就労していないが、自宅近くの保育園に入りたいという方も実際にいるが、たとえ求職中で入所できても3か月で就職できなければやめなければいけない。</p> <p>その厳しい線引きがあることはご理解いただきたいと思う。</p> <p>幼稚園は公立だが、現在保育園はほとんどが民間になってきており、手を加え、借金を抱えながら運営を行っている状態。幼稚園が長時間保育するとなれば、多くの利用者が幼稚園に流れることにもなりかねないため、そういった点について、先ほどから市がバランスと説明している部分であると思う。</p> <p>そのため、就労しておりあと30分、例えば15時や16時まで預かりを希望される場合は保育園やこども園に申し込みをされるのが基本であり、就労しておらず幼稚園に預けるのであれば、短時間となることについて募集段階でも記載されており、そういった違いについてまた確認いただければご理解いただけるのではないかと思う。</p>

委員	<p>私自身もパートをしながら 14 時の縛りも理解しながら公立幼稚園に通わせていた。資料にもまとまっているように公立の良さもあると思う。</p> <p>経済的に共働きが必要だが、子どもには自分の思う教育を受けさせたいと思う。それを叶えられるまちであれば住みやすいと思うが、保育園、幼稚園のバランスで無理だと言われると、バランスを取りながらやっているところもあるのではないかと思う。</p> <p>例えば、公立の幼稚園でもお母さんがリフレッシュで延長保育を利用できるまちも実際にある。バランスのためにできないではなく、実際にできているまちに対し、どうしているかといった意見交流があるのか、公立の先生方の人員配置等で負担軽減ができるのであれば市として人員を確保する方法等、できる方法を同じように考えていただきたい。公立幼稚園に通わせたいと思うお母さん、子ども達を含め、通える場所が今後も続いてほしいと思う。</p>
事務局	<p>他市の状況についても、預かり保育に限らず情報を集めながら進めている状況である。</p> <p>各市においても状況は様々であり、市内においても地域により就学前児童数や民間園の配置数も異なっているため、実情に応じて進めていきたいと考えている。国においても最終的にはこども園化の方向へ向かっている。今回公立幼稚園の役割という形で記載している部分について、公立幼稚園教育の良い部分については公立のこども園になっても引き継いでいくものと考えている。そういったものも含め、認定こども園化について考えていきたい。</p>
委員	<p>特別な支援が必要な就学前児童について、資料からも医療的ケア児の増加、特別支援ルーム入園者割合が幼稚園、こども園ともに増加している状況である。</p> <p>市の医療的ケア児の受入対応方針として、加古川養護学校幼稚部の定員が限られているとの記載があるが、加古川養護学校幼稚部の定員を増やすことで対応するのか、それともインクルーシブ教育のために市立幼稚園で体制を強化して受け入れていく、どちらの方針なのか。</p>
事務局	<p>幼稚園だけではなく、小学校、中学校も同じく医療的ケア児の受け入れができるように、看護師などの専門職の配置をするように法律も変わってきている。</p> <p>特別支援にかかる教育を養護学校だけではなく、地域の幼稚園で受け入れできる体制を整えるようにという法律の趣旨に基づき、市も同じ方向性で進めていきたいと考えている。</p> <p>実際に特別支援を必要とする幼児の保護者のニーズについて、先生方を通して伺うと、発達を支えるきめ細やかな支援とともに、通常の子ども達とともに生活する場として幼稚園を選択しているとの声がある。安全性の問題も</p>

委員	<p>あるためすべての医療的ケア児を受け入れることは難しいと思うが、どちらの園児にとっても多様性に触れる良い経験となる部分もあるため、幼稚園において専門職の配置を検討していきたいと考えている。</p> <p>民間の保育園や小規模保育園も複数あるが、資料において記載されていないことが残念である。</p> <p>公立幼稚園、こども園、保育園に通うこども、1号、2号、3号認定といったくりではなく、家庭で保育されている子もいる。市としては、加古川市すべての就学前の子どもとして意識していただきたい。そうすることで先ほどの意見にも関連した育てやすい環境が整っていくのではないかと思う。</p> <p>市においても部署が異なっても十分な連携をお願いしたい。</p>
事務局	<p>ご意見はごもっともである。</p> <p>今後は幼稚園のあり方あるいはこども園化に関しては、民間の方々や全体を意識しながら進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>幼稚園での3年保育について、令和4年度以降についてはどのような予定であるか。</p>
事務局	<p>ニーズは十分あると思っているが、認識している課題や児童数の減少といった状況を踏まえ、今後課題を解決しながら検討を進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>以前に幼稚園での4歳児受入を開始した時も、段階を踏んだ上で全園実施になったと思うが、現在の4歳児において人数が減ってきている状況もあるため、3年保育の拡充にあたっては、開始したものの少数での保育になってしまうなどの状況にならないようにしていただきたい。また、事前に周知等をお願いしたい。</p>
委員	<p>(3) 第二期加古川市立幼稚園及び保育園の認定こども園化推進方針(案)について</p> <p>資料4、5により説明</p> <p>区域Cにある1園について、資料3と資料4を併せて確認すると、1学級20人未満の園であるにもかかわらず、4・5歳児の1学級における望ましい人数20人を満たす方策について、資料4の5(1)区域Aのように「市立園の統合と併せて認定こども園への移行を検討する」等の記載もない。廃園することについて意図的に明記していないのか、現段階で検討していないのかどちらなのか。</p>

事務局	<p>西神吉幼稚園に関することだと思うが、資料3の17ページに記載のとおり、園児数は20人未満となっている。望ましい集団規模を確保していくために廃園や、近隣の認定こども園との統合という方向性もあるため、現段階で明記するべきではないと考えている。</p> <p>今後の方針については、他の園も含め1学級20人未満の園について、地元の方々の意見等を聞く必要もあると考えており、市から方針を出すことは望ましくないと考えたため、今回は個別に方針を記載していない状況である。今後、地元の声を聞きながら検討を進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>神戸市では駅前に送迎ステーションを作り、遠方の園へ送迎を実施することを検討していると聞いた。やまて幼稚園はスクールバスで送迎を実施していると聞いたが、単にこども園化するだけでは難しいと思うため、次のもう一手を実施することで園を存続させる案もあるのではないかと思う。あらゆる手段を使って検討して欲しい。</p>
委員	<p>資料から、鳩里幼稚園と鳩里保育園は一緒にこども園化と見るが、野口保育園と浜の宮保育園については認定こども園化を検討となっているが、幼稚園と統合ということか。</p>
事務局	<p>近隣にも園児数20人未満の園も出てくると思われるため、地域全体として在園児数の推移等を踏まえ、認定こども園化を検討していくこととしている。</p>
委員	<p>人数が見込めるようであれば、単独で幼稚園が残る可能性もあるということか。</p>
事務局	<p>どこまで認定こども園化を実施していくのかということだと思うが、望ましい集団規模を確保するために幼稚園同士での統合、あるいは近隣の認定こども園や保育園と統合していくという方針を記載している。しかしここ5年を見ても取り巻く環境は大きく変化しており、どこまで認定こども園化を実施するかという最終段階は予測しかねる状況である。そのため、現段階の方向性として、望ましい集団規模を確保していくことについて取り組んでいきたいと考えている。</p>
委員	<p>統廃合については難しいと理解している。よく検討の上統廃合されるのがいいのではないかと思う。</p> <p>また、保育園の認定こども園化については具体的な時期等について予定はまだわからないのか。</p>
事務局	<p>現在のところ未定であるが、施設の老朽化もあるため、早急に検討してい</p>

委員	<p>かなければならないと考えている。</p> <p>計画の進捗について、決定するまでに随時周知いただくようお願いしたい。</p>
委員	<p>施設の老朽化の場合、新しい園舎に建て替えることになると思うが、その際にはインクルーシブ対応した施設にして欲しいと思う。また遊具についても、車椅子の方も遊べる遊具もあるため、同様にインクルーシブ対応した遊具を導入して欲しい。せっかくなら、統廃合された幼稚園等を兵庫県でトップクラスのインクルーシブ対応した施設にして欲しいと思う。</p>
委員	<p>こども園化した場合、現在公立の幼稚園に通園している子ども達は全員入所できるのか。認定こども園化した園について、幼稚園枠の受け入れ人数が減り、抽選と聞いたことがある。現在公立幼稚園に通わせているが、認定こども園化することで受け入れ人数が減り、抽選になるのであれば、親としては不安でしかない。そういったことも考えてもらいたい。</p>
事務局	<p>認定こども園化する際には、就学前児童数の減少や全体の状況を踏まえ定員設定することになる。入園希望人数が実際に何人になるかはわからず、すべての人数をまかなえる定員数を設定することは、先ほどからの民間園とのバランスからも難しいと思うが、状況を見ながら定員設定することになる。</p>
委員	<p>公立幼稚園に入れたかった親の気持ちとして、イベントで近くの小学校へ行けること、同じ小学校に通う子ども達が同じクラスにいることがとても心強いという部分がある。</p> <p>公立幼稚園の先生方がよく勉強されているということも聞き、信頼感があるため、公立に入れたい親の気持ちはすごくよくわかる。また、勉強した内容を他の先生にも伝達すると資料にも記載があったが、近隣のこども園や保育園にもその情報は伝達されているのか。</p> <p>公立園が地域のこども園や保育園を巻き込んで近くの小学校で一緒にイベントを行うなどしてもらえれば、親の不安感は軽減するのではないかと思うため、検討していただきたい。</p>
事務局	<p>就学前教育の伝達については、現在はコロナ禍のため公開研究発表会などはできていないが、そういったものを活用しながら周知を行っていきたい。他の自治体では、幼児教育センターを作り、就学前教育施設に研修を実施しているところもあるため、参考にするとともに、あわせて幼児教育士の負担軽減も考慮しながら検討していきたい。</p> <p>また、近隣小学校でのイベントに関しては、最近は特に地域により異なると思うが、ユニットという形で中学校から小学校、幼稚園や保育園を巻き込み取り組みをされているところも多くある。教育委員会としては、そういっ</p>

委員	<p>た取り組みをすべての地域で実施していく、学校については、現在学校運営協議会という地域の人と一緒に学校、幼稚園を考えていこうという取り組みを始めている状況である。そのような中で、実際に実現していけたらと考えている。</p> <p>小学校の運動会へ参観に行った際、幼稚園の子ども達は参加している。時々保育園の保護者から、幼稚園の子は参加できて、自分の子も来年同じ小学校に通うのだが保育園は何もないんですね、と言われる。かけっこや玉入れなど、簡単なことでいいので参加させていただけないかと思う。</p> <p>実施の呼びかけについては、全園に対してや、いつどの小学校で何時に新1年生集まってね、などを町内会の回覧板を使用するなどして周知してもらえたら、子ども達も来年の意識ができるため良いと思い、何度か相談させてもらったことがある。しかし、各学校運営協議会のことであるとのことで実現できていないが、今回保護者からも同じ意見があるのであれば、教育委員会からも提案するなどして各学校で取り組んでもらえたら、不安感や垣根が低くなるのではないかと思うため、お願いしたい。</p>
委員	<p>私の子どもも認可外保育園に通わせ、一切小学校の情報がないまま、不安な気持ちで入学させたため、同じ思いである。</p> <p>すべての子どもという意味では、市立の幼稚園、保育園や認可園だけではなく、企業主導型保育など、いろんな形がある。すべての子ども達に、例えば運動会や音楽会、何でもいい。以前はオープンスクールがあり、地域の皆さんが誰でも、1時間目から6時間目までいつでも参観できるものがあった。</p> <p>地域の子ども達、特に来年1年生になる子ども達が自分の通う小学校に行ける機会を市として取り入れて行ってほしい。市全体としてすべての子どもを考えてくれていると感じることができると思う。</p>
事務局	<p>小学校、中学校に関しては所管が異なるため現状を把握できていないが、いただいた意見を共有させていただく。</p>

<p>3. その他</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>求職中は児童クラブの申し込みができないと聞いたがそうなのか。</p> <p>採用予定となった場合は、その時点で採用予定の勤務証明書を提出いただければ申し込みは可能である。</p> <p>雇止めになった場合はすぐに退所しなければならない。その後、すぐに求職活動しなければならない状況であるにも関わらず、子どもを預けられない状況になると聞いた。</p> <p>保育園では求職中の場合は3か月の猶予があることも考えると、求職中であれば申し込み可能、親が退職してもすぐに退所にならないなど、今後、事情がある方に関しての対応を検討していただけたら働くお母さんたちにはありがたいのではないかと思います。</p> <p>いろいろなケースが想定されるため、個々の事情に応じて対応できるように検討していきたい。</p> <p>児童虐待について最重要課題と認識している。以前に広報誌で特集をされていたと思うが、市として継続してPRして欲しい。</p> <p>今年度も例年通り11月広報に掲載したかと思うが、PRは継続して実施していく。</p>
<p>4. 閉会</p>	